

シリーズ

建築ディテール見て歩き

(公社)千葉県建築士事務所協会 顧問 田中 修一

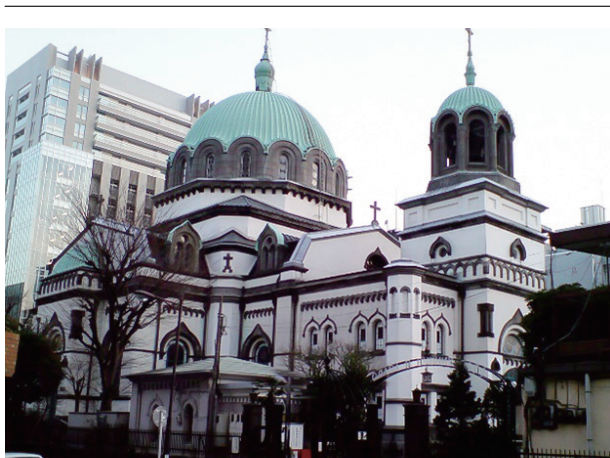
型枠の技術・デザインがすごい
その1Vol. **02**

聖橋の由来

JR御茶ノ水駅を挟んで神田川に架かる2本の橋がある。秋葉原寄りを聖橋(RC造アーチ)、水道橋寄りを御茶ノ水橋(S造ゲルバー桁梁)という。

聖橋の由来はこうである。ロシア正教の本拠を設けるべくニコライ司祭が奔走して建設した日本ハリスト正教会(日本に西洋建築の基礎を学生たちに教える一方、数々の名作を残した、ジョサイア・コンドルの設計⇒関東大震災で壊れたので、岡田信一郎が再設計)が駅の南側にある。それに対比する形で、北側には江戸の儒教学問所(上野にあったものを将軍綱吉が移転、のちの東大の原点となった)の名残をとどめる孔子廟があって、双方を結ぶところから名づけられた。

ニコライ堂



湯島聖堂(孔子廟)

屋根の上にはガーゴイル(魔物)が載る。ヨーロッパの教会堂にはよく見かける風物だが、日本でも寺院には魔物まがいの飾りが隠れているので、注意してみると面白い発見がある。



瓦を横積み(小端積み)にした長大な塀に囲まれ、森閑としてここが繁華街とは思えない雰囲気を出している。すぐそばには東京医科歯科大、神田明神があって、人の往来も頻繁だ。結構若者が訪れているのは感心だ。

